

2006年3月22日

各位

藤森工業株式会社
三菱製紙株式会社
FCM 株式会社

プラズマテレビ用光学フィルター事業に進出

藤森工業株式会社（東京都中央区）、三菱製紙株式会社（東京都千代田区）、FCM 株式会社（大阪市東成区）は、プラズマディスプレイパネルメーカーと開発を進めてきたプラズマテレビ用光学フィルターの本格生産を開始する。

このプラズマテレビ用光学フィルターは、三菱製紙と藤森工業が共同で開発した電磁波シールドフィルムに、多層の光学層を付加したもので、プラズマテレビから出る電磁波をシールドする電気特性と、不要な赤外線、ネオン線等をカットする光学特性を有している。この電磁波シールドフィルムは、導電性の高い銀パターンを形成させる三菱製紙の特殊銀塩写真技術に、FCMのロール形状による幅広、薄膜フィルムへの精密パターンメッキ技術を応用した、量産化されたものとしては世界初のタイプで、プラズマ用途として優れた電磁波シールド性を確保している。従来の銅箔をエッチングする方式と比べ、シャープなメッシュパターンを形成でき、よりクリアな画質が得られることが期待される。また最適メッキ金属の選択やメッキ厚コントロールが容易にできることから、各種プラズマテレビに応じたシールドを自由に設計できる。光学層には、藤森工業のハイクリーン精密コーティングによる光学材料・光学設計技術を活用する。このような三社の連携により、原料の透明フィルムから銀パターン、金属めっき、光学層まですべて連続ロール形状での加工が可能となり、製造工程が大幅に簡略化され、既存品に比べ価格と性能面において優位性を発揮することができ、また量産によりさらなるコストダウンも期待できる。

銀パターン形成は、三菱製紙京都工場の写真製造設備を活用できるため新規の設備投資はほとんど不要である。また本事業は三菱製紙が昨年発表したフェニックスプラン（中期再生計画）における強化新規事業の1つでもある。

本光学フィルターは、今春より本格的に出荷となる。当初のフィルム生産能力は月産4万台分で、2006年度中には月産10万台分を目指す。販売は藤森工業が担当し、数年後には年間100億円以上の売り上げを目指す。

以上

本リリースに関するお問い合わせは；

藤森工業株式会社 機能材料事業部 山田（tel：03-3661-4211）

三菱製紙株式会社 機能性フィルム事業室 小林（tel：03-3213-4901）

FCM 株式会社 電子機能材事業部 吉村（tel：06-6975-1324）